



平成 29 年 11 月 29 日

報道機関 各位

東北大学大学院教育学研究科

シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援」開催について いま ～高校生・大学生が見つめる被災地の現在～

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“Sチル”では、このたび第9回シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援～高校生・大学生が見つめる被災地の現在～」を次頁のとおり開催いたします。

震災後6年目に開催する今回のシンポジウムでは、被災3県在住の高校生が取り組んでいる震災・防災に関する活動、大学生による震災ボランティア活動に焦点をあてて、その取り組みから見える震災後の東北の姿、また、その活動を通して、学んだことや課題について報告をしてもらいます。

震災当時は子どもだった高校生や大学生が行う震災についての活動報告が、今後の支援や次世代の支援者育成につながることも期待されます。

つきましては市民の皆様幅広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

ご取材を希望される場合は、下記問い合わせ先までご一報ください。

【問い合わせ先】

東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室“S-チル”

担当 平井、大堀

電話 022-795-3263

E-mail s.children@sed.tohoku.ac.jp

ウェブサイト <http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

1. 日時及び場所

日時 平成 29 年 12 月 9 日(土)10 時 30 分～15 時 30 分(受付開始 10 時)

場所 東北大学文科系総合講義棟(仙台市青葉区川内)

2. 主催 東北大学教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

3. 共催 東北大学高度教養教育・学生支援機構

4. 概要

東日本大震災から 6 年目になる今回のシンポジウムでは、被災 3 県在住の高校生が取り組んでいる震災や防災に関する活動、大学生による震災ボランティア活動に焦点をあてて、高校生のポスターセッション、及び大学生によるプレゼンテーションを行います。

5. 対象者

テーマに関心のある方はどなたでも

6. 参加、取材申込方法

震災子ども支援室まで FAX(022-795-3263)かメール
(s.children@sed.tohoku.ac.jp)で御連絡下さい。参加無料です。